

## 米国上院軍事委員長等の普天間基地「嘉手納統合案」提言に抗議し、その撤回を求める意見書

米国上院軍事委員会の民主党カール・レビン委員長と共和党ジョン・マケイン筆頭委員ら超党派の米国議会議員は、5月11日（日本時間12日）、米海兵隊普天間基地の名護市辺野古への現行移設計画は「非現実的で実行不可能、財政負担も不可能」とし、米空軍嘉手納基地への統合を中心とする新たな移設案の検討を米国防総省長官らに提言した。

この提言に対し、嘉手納町民をはじめ、周辺自治体住民及び県民から激しい怒りと猛反発の声が広がっている。

特に嘉手納基地周辺住民は、基地から派生する米軍機の激しい爆音や騒音により、肉体的、精神的な被害を受け、日夜生活環境は脅かされている。

基地負担の軽減が求められている今日、嘉手納基地の運用実態は、常駐機のF-15戦闘機その他、F-22Aラプターなどの外来機の飛来や、即応訓練による爆音増大、SACO合意に反するパラシュート降下訓練等により、周辺住民にとって、負担軽減どころか、すでに我慢の限界を超えている。

普天間飛行場の「嘉手納統合案」は固定翼機と回転翼機が混在し、爆音激化と航空事故の危険性が一層高まり、県民の命まで脅かされる危険極まりない提言である。

これまで「嘉手納統合案」は基地周辺自治体の猛反発、反対運動にあい断念に追い込まれた経緯があるにもかかわらず、またしてもこの統合案を持ち出す事は、読谷村民、県民の心を踏みにじる非人道的なものであり、断じて許せるものではない。

よって読谷村議会は村民の生命、安全、財産、平穏な生活環境を守る立場から普天間基地の「嘉手納統合案」に断固反対し、下記の事項を強く要求する。

### 記

1. 普天間基地「嘉手納統合案」の提言を撤回させること。
2. 日米両政府は普天間基地「嘉手納統合案」を断念すること。
3. 普天間基地の県外、国外移設を実施すること。
4. S A C O合意に反するパラシュート降下訓練等嘉手納基地の機能強化をやめ、負担軽減を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年5月27日  
沖縄県読谷村議会

あて先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、外務省特命全権大使沖縄担当  
沖縄防衛局長、沖縄県知事

米国上院軍事委員長等の普天間基地「嘉手納統合案」提言に抗議し、その撤回を求める抗議決議

米国上院軍事委員会の民主党カール・レビン委員長と共和党ジョン・マケイン筆頭委員ら超党派の米国議会議員は、5月11日（日本時間12日）、米海兵隊普天間基地の名護市辺野古への現行移設計画は「非現実的で実行不可能、財政負担も不可能」とし、米空軍嘉手納基地への統合を中心とする新たな移設案の検討を米国防総省長官らに提言した。

この提言に対し、嘉手納町民をはじめ、周辺自治体住民及び県民から激しい怒りと猛反発の声が広がっている。

特に嘉手納基地周辺住民は、基地から派生する米軍機の激しい爆音や騒音により、肉体的、精神的な被害を受け、日夜生活環境は脅かされている。

基地負担の軽減が求められている今日、嘉手納基地の運用実態は、常駐機のF-15戦闘機その他、F-22Aラプターなどの外来機の飛来や、即応訓練による爆音増大、SACO合意に反するパラシュート降下訓練等により、周辺住民にとって、負担軽減どころか、すでに我慢の限界を超えている。

普天間飛行場の「嘉手納統合案」は固定翼機と回転翼機が混在し、爆音激化と航空事故の危険性が一層高まり、県民の命まで脅かされる危険極まりない提言である。

これまで「嘉手納統合案」は基地周辺自治体の猛反発、反対運動にあい断念に追い込まれた経緯があるにもかかわらず、またしてもこの統合案を持ち出す事は、読谷村民、県民の心を踏みにじる非人道的なものであり、断じて許せるものではない。

よって読谷村議会は村民の生命、安全、財産、平穏な生活環境を守る立場から普天間基地の「嘉手納統合案」に断固反対し、下記の事項を強く要求する。

#### 記

1. 普天間基地「嘉手納統合案」の提言を撤回すること。
2. 日米両政府は普天間基地「嘉手納統合案」を断念すること。
3. 普天間基地の県外、国外移設を実施すること。
4. S A C O合意に反するパラシュート降下訓練等嘉手納基地の機能強化をやめ、負担軽減を実施すること。

以上、決議する。

平成23年5月27日  
沖縄県読谷村議会

あて先 米国防総省長官 米国上院議会軍事委員長 在日米軍司令官  
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官